



Title	ゴキブリの話
Author(s)	武衛, 和雄
Citation	makoto. 1977, 18, p. 4-4
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86186
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

ゴキブリの話

大阪府立公衆衛生研究所

総括研究員 武衛 和雄

今日では屋内害虫として実によく繁殖し、分布を拡げているのはゴキブリで、またこのくらい嫌われ者の虫も珍らしい。一般家庭に住みついていてるのはクロゴキブリという暗褐色の油ぎった大型の虫だが、今では北海道から沖縄に至るまで日本国内に分布を拡げてしまった。もうひとつは、小型で背中に二本のたてじまのあるのがチャバネゴキブリで、この方はビルや飲食店などにごく普通にみられ、新幹線の列車内でもふえて話題になっているのもこの種類である。ワモンゴキブリとかトビイロゴキブリのように、もともと熱帯地方に多かった種類も、このごろでは北海道でも住みつくようになつた。何とも困つたことである。

ゴキブリが油虫とよばれるように、その油ぎったさまは、ま

さにわれわれに不快感を与える。

これは、表皮の二番目の層にワックス層といわれる薄い層があつて、ここに脂質が四パーセントも含まれることによる。ワックス層は体表から水分の蒸発するのを防いだり、防虫剤などの毒物が侵入するのを防ぐ役目をしていゝ。この脂質は、皮膚の基にある細胞で合成される。ゴキブリが環境抵抗に強いのもこれが一因であらうと考えられる。

ゴキブリの繁殖力はハエや蚊

に比べて決して大きいとはいえない。その理由は生活史が長いからだ。卵から孵つたチャバネゴキブリは、親に成長するまでに約二カ月かかるが、クロゴキブリの方は一年近くかかると考へてよい。いま、一对のチャバネの夫婦による子孫が年二回の世代をくりかえすと仮定すると、一年後には二万匹になる計算に

なる。もっとも、食物とか環境

条件に制約されるから理屈どおりにはゆかないが。

しかしクロゴキブリは寒さにもよく耐える習性があるので、普通の木造家屋でも越冬できる。幼虫で越冬したゴキブリが、翌年成虫になりうる。これに比べて、チャバネやワモン、トビイロなどのゴキブリは寒さに弱い。これらの虫が越冬し、年中繁殖できるのは暖房のきいたところに限られていゝ。

いろいろな手段を用いてゴキブリ退治をやつても、なかなか根絶できないのは何故だろうか。そもそもこの虫は薄っぺらでしかも頑丈な足をもつて狭いところにもぐりこむ。幼虫も成虫もたいてい同じ場所に群居してゐる。しかも夜行性で、移動も自由自在だ。彼らの食性は雑食性で、食うに困るということも

なさそうだ。おまけに糞便も食うから、サルモネラ菌、赤痢菌、ぶどう球菌、レブラなど危険な病原菌を保有していたという物凄まじい報告が数多くなされてゐる。

外敵や環境から自らをよく防衛でさるような生活に適應してゐたことが、この虫を三億年の昔から滅びもしないで家系を維持してきたゆえんなのである。いやそればかりでなく、人間の住居や生活がゴキブリの繁殖をむしろ助長させてゐるとは、何とも皮肉なことではないか。

ゴキブリの退治法について簡単に述べてみよう。さしあたり殺虫剤を使うのが最も有効と考へる。第一に残留処理法。毒性がひくくて、比較的残効性のある殺虫剤として、有機リン剤ならフェニトロチオン、ダイアジノン、バイテックス、サイノックスなどがよいだろう。また、フェノトリン、パーメスリンなども新らしく開発された残効性のすぐれたピレスロイドで、近くお目見えするそうさ。ゴキブリの出没するのは台所、食堂、洗面所などが多いから、それらの壁面、家具、ガス台などに重点散布をしておく。うまくやれば一回の処理で少くとも三カ月は有効である。

次は直接散布法。ゴキブリは暖かいところに多く潜んでゐる。DDVPやピレスロイドのエアゾール、または液剤の噴霧を行なつて直接殺す方法だが、潜み場所に薬剤がうまく到達しないと効果がうすい。

やや消極的だが、毒餌とか粘着トラップや器具で捕えることも、有害な虫を家庭から一匹でも除くことになるのだから無意味とはいえない。

洗剤がゴキブリを殺すというのはその物理的な作用によるもので、虫の気門をふさいで窒息させるからだ。洗剤じたいには殺虫毒性はきわめて乏しいから、散布しても効果は期待できない。ゴキブリ退治をしたら、台所などはよく整理・整頓しておく。残飯のあと始末、流し水をよく切つて乾燥させておこう。不潔な環境はゴキブリの最も好むところだということを忘れないように。

